

「人材開発支援助成金」の活用例⑨

介護現場の生産性向上を目的とした人材育成への活用

業務改善を実行し人手不足の解消と生産性の向上を実現した企業が、更なる生産性の向上を実現するため、企業内の人材育成に「人材開発支援助成金」を活用できる事例を紹介します。

介護現場で抱える課題

- **深刻な人手不足**
「残業時間が多い」「休みが取りづらい」「身体的・精神的にも過酷な業務が多い」など、**業務環境を理由とした職員の離職**が多く定着率が低い。
また、**有資格者しか従事できない仕事**があり、求人の充足が難しい。
- **教育担当者の負担**
人材育成に関するノウハウ等が整備されておらず、指導者としての責任なども含め、**教育担当者の業務負担が過大**になっている。

課題解決に向けた業務改善

- 資格が必要な仕事の担い手を増やすため、**無資格者対し資格取得の機会を付与**。
- 教育担当者一人あたりの負担を軽減するため、**複数の教育担当者を配置**。
併せて、**新人教育マニュアルを作成**し、事業所全体で新人育成の方針を共有。
- 職場で抱える問題について話し合う機会を増やすため、**定期的なミーティングを実施**。

人手不足の解消と生産性の向上

- **無資格者が資格を取得し資格が必要な業務に従事できるようになることで、人手不足が解消**され、業務量や休暇所得などの**業務環境の改善**や、有資格者になることによる給与増額など**処遇の改善**に繋がることで、離職による**人材流出防止を実現**。
- **人材育成の重要性が、事業所全体に浸透し、職員全体の仕事に対する能力が向上**。
結果として、顧客満足度も向上。
- 介護浴槽・入浴用車いす・送迎用の車等の設備関係の増設や修繕など、**職場の課題解決を図ることで生産性の向上を実現**。

人材開発支援助成金の活用方法

「人材開発支援助成金」は、事業主が従業員に対して職務に関連した訓練を実施した場合に、**訓練経費や訓練期間中の賃金の一部などを助成**しています。

上記の取り組みでは、労働者に対し介護業務に必要な介護の知識の習得や、資格の取得を目的とした研修を実施する場合に、助成金を活用することができます。

<助成金活用のメリット>

- **助成金を活用して人材育成を行うと、資格の取得に必要な研修等の費用負担を抑えることができます**。
- 外部訓練機関等を活用した訓練を実施することで、労働者のスキルアップが図られ、**指導に当たる従業員の更なる負担軽減**を図ることができ、生産性の維持・向上も見込まれます。

